

「評価」 4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切

調査数31名

※評価が2.5以下についてはピンクで表示

1 はじめに

2017年度は、2016年度の学校の自己点検・自己評価結果を基に、学内の自己点検・自己評価委員会で検討を行った。その結果、自己評価については、評価規準がなく、教職員個々の評価規準が異なっているという課題が明確となった。そこで、委員会では評価規準を作成し、2017年度は作成した評価規準に基づいて評価を実施した。

2016年度で評価結果が低かったのは、1)卒業生のキャリア形成効果の把握 2)情報のシステム化等による業務の効率化 3)財務基盤、人事に関することであった。

卒業生に関することについては、同窓会に依頼して、卒業生の名簿登録、管理について検討中である。情報のシステム化等による業務の効率化について学内の情報伝達、緊急連絡等のメールでの発信、イントラネット等を推進している。財務基盤や人事・給与に関しては、広島YMCAが統括しており、少しづつではあるが本部とのミーティングを行い改善を試みている。

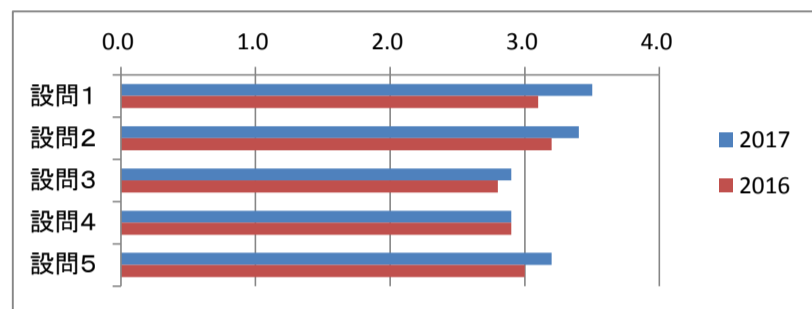
その他のカテゴリについても、検討を進めており、2017年度の評価は2016年度に比して、全体的には良くなっている。個々のカテゴリについての結果及び考察は下記の通りである。

II 結果及び考察

1 教育理念・目標 平均 3.2

		2017	2016
理念・目的・育人人材像は定められているか	設問1	3.5	3.1
学校における職業教育の特色が明らかになっているか	設問2	3.4	3.2
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	設問3	2.9	2.8
理念、目的、育人人材像、特色、将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	設問4	2.9	2.9
各学科の教育目標、育人人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか。	設問5	3.2	3.0

1 教育理念・目標

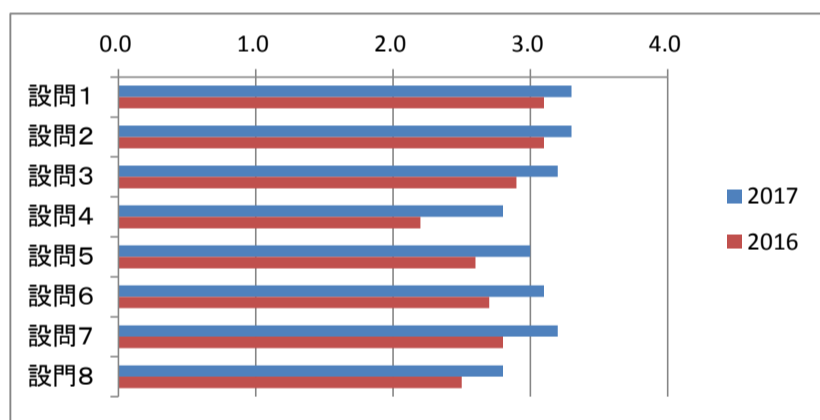


「教育理念等が学生や保護者に周知されているか」以外の評価は上昇している。2017年度は各学科の育人人材像について検討し、明文化した。また、教育理念等については、講師会議や学生便覧で関係者への周知を図った。学生は毎年新生を迎えるので継続した努力が必要である。

2 学校運営 平均 3.0

		2017	2016
目的等に沿った運営方針が策定されているか	設問1	3.3	3.1
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	設問2	3.3	3.1
運営組織や意思決定機能は、規則等において明文化されているか、有効に機能しているか	設問3	3.2	2.9
人事給与に関する制度は整備されているか	設問4	2.8	2.2
教務、財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	設問5	3.0	2.6
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	設問6	3.1	2.7
教育課程に関する情報公開が適切になされているか	設問7	3.2	2.8
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	設問8	2.8	2.5

2 学校運営

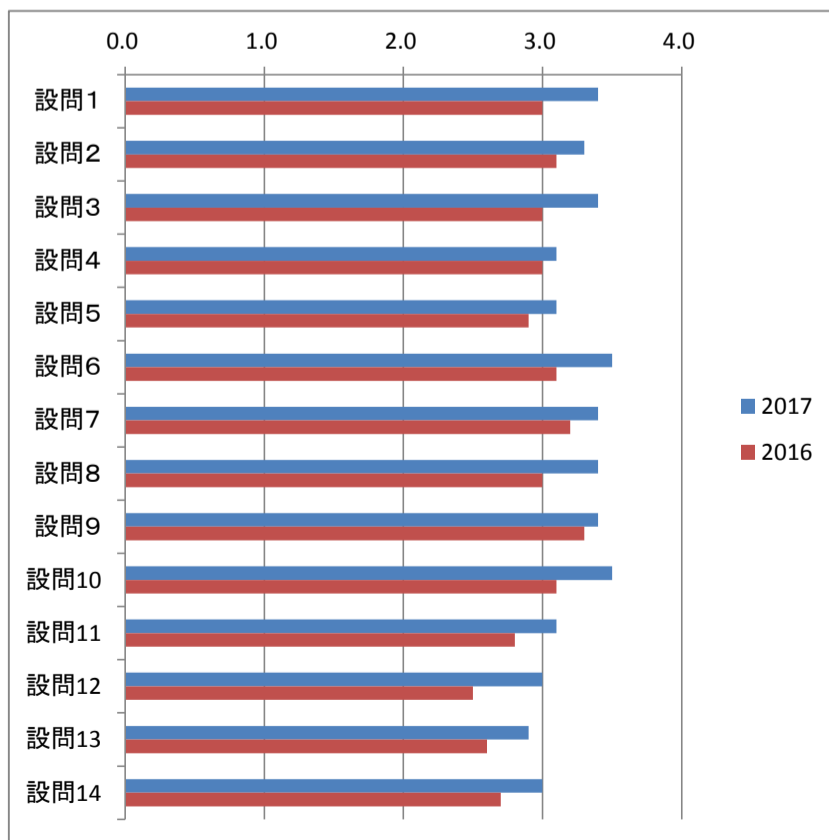


すべての項目が良くなっている。特に「人事給与に関する制度の整備」「意思決定システムの整備」は0.6と0.4それぞれポイントが上昇した。教職員が共通の問題意識を持ち、学校運営を行い、諸会議の検討内容の周知・確認が行われたことが要因ではないかと考える。

3 教育活動 平均 3.25

		2017	2016
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	設問1	3.4	3.0
教育理念、育人人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	設問2	3.3	3.1
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	設問3	3.4	3.0
キャリア教育実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫開発などが実施されているか	設問4	3.1	3.0
関連分野の企業関係施設等、業界団体等の連携により、カリキュラムの作成見直し等が行われているか。	設問5	3.1	2.9
関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技実習等)が体系的に位置づけられているか	設問6	3.5	3.1
授業評価の実施・評価体制はあるか	設問7	3.4	3.2
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	設問8	3.4	3.0
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	設問9	3.4	3.3
資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	設問10	3.5	3.1
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	設問11	3.1	2.8
関連分野における業界との連携においてすぐれた教員の確保するなどマネジメントが行われているか	設問12	3.0	2.5
関連分野における先端的な知識技術等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われているか	設問13	2.9	2.6
職員の能力開発のための研修等が行われているか	設問14	3.0	2.7

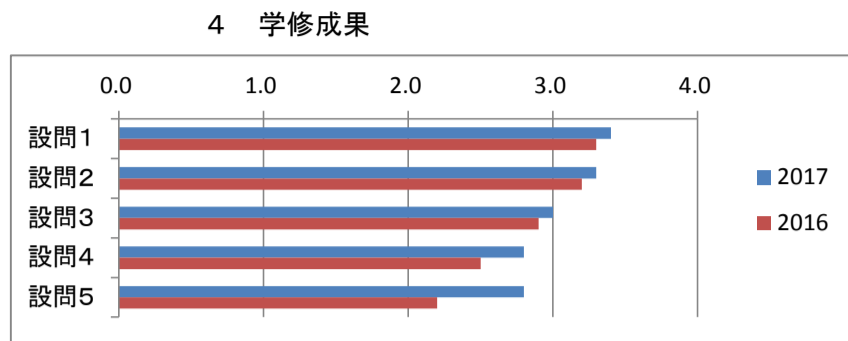
3 教育活動



14項目のすべてで0.1~0.5ポイント上昇し、平均して3.1以上の評点であった。評価規準を作成し、教職員への徹底を図ったことで、各設問の意図と自分たちの実際の活動が具体的に結びいたことが、要因の一つである。しかし「教育方法の工夫・開発」に向けてこれからの積極的、継続的な取り組みが求められている。

4 学修成果 平均 3.06

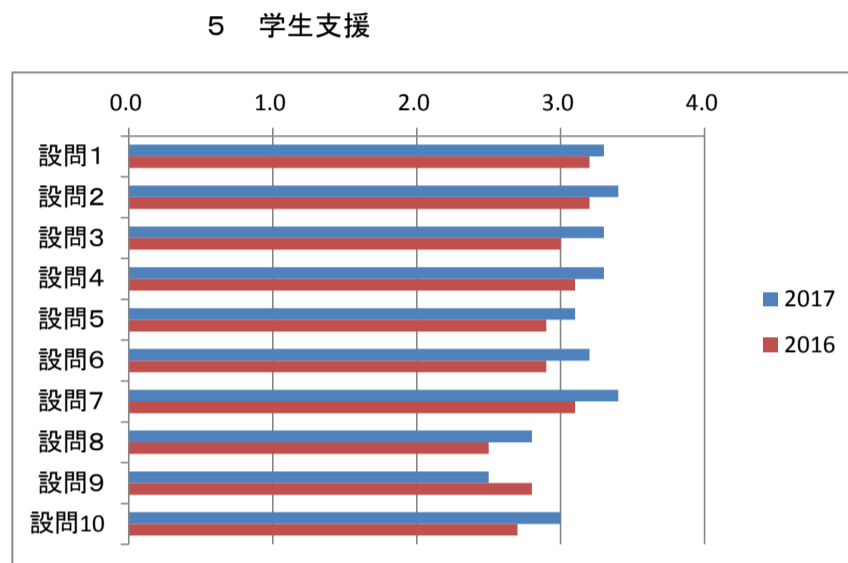
		2017	2016
就職率の向上が図られているか	設問1	3.4	3.3
資格取得率の向上が図られているか	設問2	3.3	3.2
退学率の低減が図られているか	設問3	3.0	2.9
卒業生、在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	設問4	2.8	2.5
卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用されているか	設問5	2.8	2.2



全ての評価項目で評価点は良くなった。特に昨年評価が低かった「卒業生・在校生の社会的評価の把握」「卒業後のキャリア形成への効果を把握し教育活動の改善に活用」は0.3と0.6それぞれ上昇した。昨年度の課題に向けた取り組みで教職員が卒業生との関わりを積極的に行った結果であると考えられる。

5 学生支援 平均 3.13

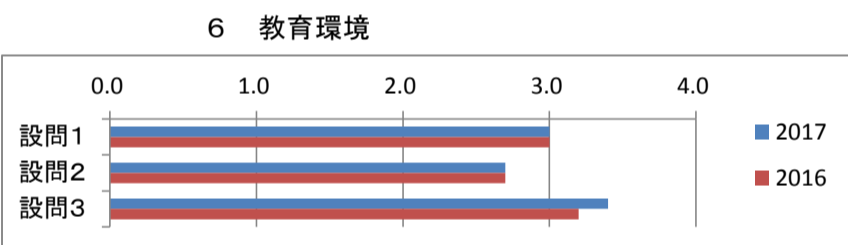
		2017	2016
進路就職に関する支援体制は整備されているか	設問1	3.3	3.2
学生相談に関する体制は整備されているか	設問2	3.4	3.2
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	設問3	3.3	3.0
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	設問4	3.3	3.1
課外活動に対する支援体制は整備されているか	設問5	3.1	2.9
学生の生活支援体制は行われているか	設問6	3.2	2.9
保護者と適切に連携しているか	設問7	3.4	3.1
卒業生への支援体制はあるか	設問8	2.8	2.5
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	設問9	2.5	2.8
高校、高等専修学校等との連携によるキャリア教育、職業教育の取り組みが行われているか	設問10	3.0	2.7



卒業生の支援体制については、卒業生の就職が多岐にわたっており、学校の方からの積極的働きかけについては課題が多く、評価も2.8と低かった。

6 教育環境 平均 3.03

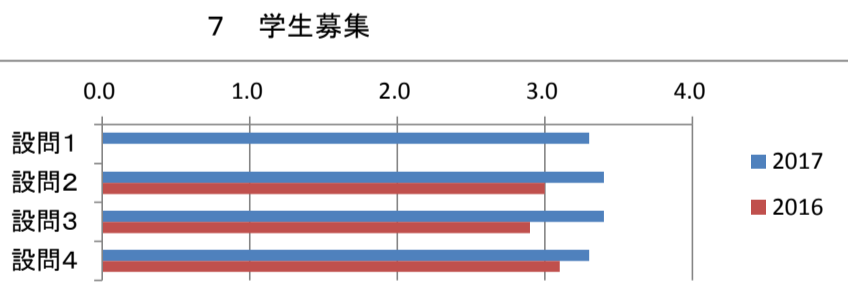
		2017	2016
施設設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	設問1	3.0	3.0
学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	設問2	2.7	2.7
防災に対する体制は整備されているか	設問3	3.4	3.2



学校も開校以来20年が経過し、2017年度に複数の教室のエアコンが故障するというアクシデントがあった。空き教室を活用することで当面の対応はできた。海外研修について、一部の学生ではあるがモンゴルスタディツアーを実施した。防災については毎年防災訓練を実施し、「防災マニュアル」を作成し、災害時の非常用物品の整備も行っている。

7 学生募集 平均 3.35

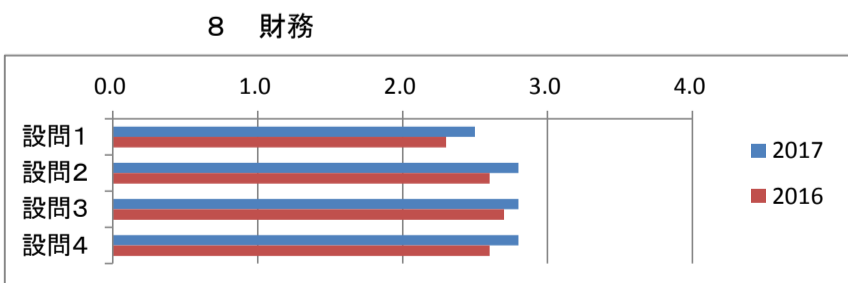
		2017	2016
高等学校、接続する機関に対する情報提供等の取り組みを行っているか	設問1	3.3	
学生募集活動は、適正に行われているか	設問2	3.4	3.0
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	設問3	3.4	2.9
学納金は妥当なものになっているか	設問4	3.3	3.1



継続して学校の運営目標にも掲げ、社会の動向、地域の情報収集を行い、入試広報委員会等を中心に学生確保のための対策を検討している。

8 財務 平均 2.72

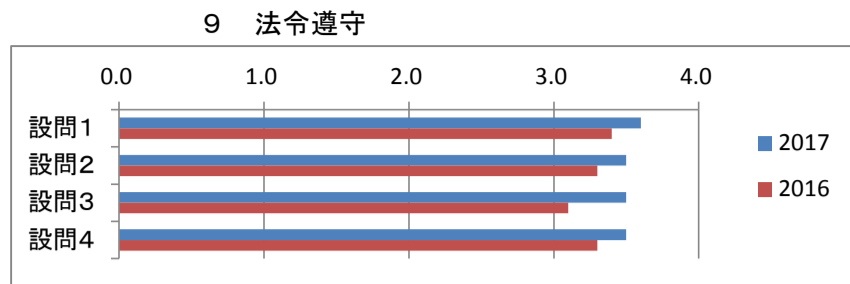
		2017	2016
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	設問1	2.5	2.3
予算収支計画は有効かつ妥当なものになっているか	設問2	2.8	2.6
財務について会計監査が適切に行われているか	設問3	2.8	2.7
財務情報公開の体制整備はできているか	設問4	2.8	2.6



財務は14カテゴリー中、最も評価が低くなっている。財務管理は広島YMCA本部の管轄であり、本校の努力だけでは改善が困難なことが多い。学校単体での経常収支が良くなるよう、学生確保対策に取り組み、収入増、支出減に向けて努力中である。

9 法令遵守 平均 3.52

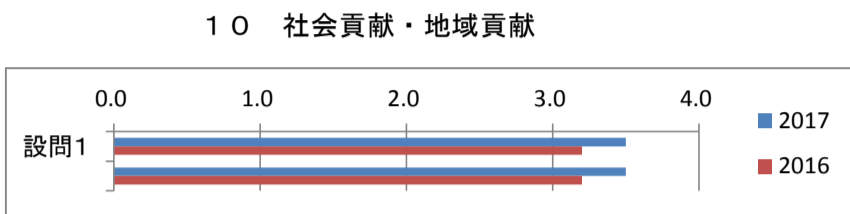
		2017	2016
法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	設問1	3.6	3.4
個人情報に関し、その保護のための対策が取られているか	設問2	3.5	3.3
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	設問3	3.5	3.1
自己評価結果を公表しているか	設問4	3.5	3.3



当然ではあるが、カテゴリー中最も評価が高く、各項目とも3.5以上の評価であった。2017年度に介護福祉学科が第三者評価の試行審査を受けたことにより意識が高まったことも影響していると考えられる。

10 社会貢献・地域貢献 平均 3.5

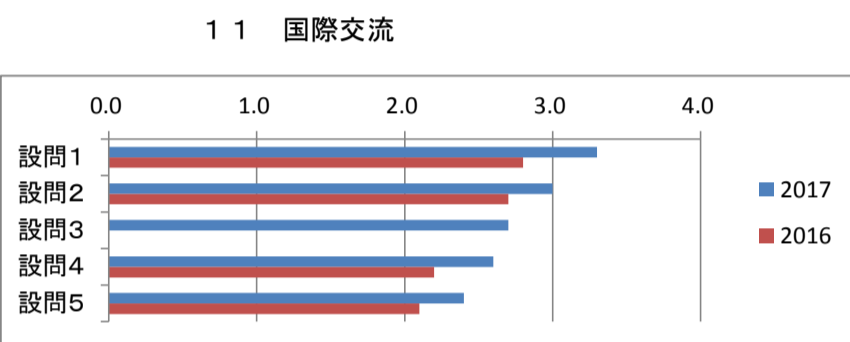
		2017	2016
学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	設問1	3.5	3.2
地域に対する公開講座教育訓練(公共職業訓練等)の受託を積極的に実施しているか	設問2	3.5	3.2



本校が力を入れて事業展開している分野であり、高い評価となっている。2017年度には外部の委員に入ってもらい「地域貢献協議会」も設置した。ボランティアについては2017年度は地域の活動に述べ305人が参加した。

11 国際交流 平均 2.9

		2017	2016
国際的視野を広げるための授業科目を設定しているか	設問1	3.3	2.8
国際的視野を広げるための自己学習に適した環境を整えているか	設問2	3.0	2.7
留学生の受け入れ・派遣について戦略を持って国際交流を行っているか	設問3	2.7	
受け入れ・派遣等において適切な手続き等が取られているか	設問4	2.6	2.2
学習成果が国内外で評価される取り組みを行っているか	設問5	2.4	2.1



財務に次いで評価が低かった。「国際理解」等の授業も実施し、ネイティブティーチャーによる英会話等も授業に組み入れている。2017年度はモンゴルスタディーツアーを企画し学生と教職員が参加した。毎年ドイツ又はハワイからの学生を迎え、文化交流も行っている。2017年度は広島YMCA留学生との交流も企画したが、台風のため中止となり残念であった。

III まとめ

2017年度は前年度より全体の評価は良かった。その要因の一つとして、評価規準の作成があげられる。今まで、設問によって意味のとらえ方がまちまちであったものが、規準を作成したことで認識の統一が図れた。

また、教職員研修で学校運営に関する研修を実施し、共通理解が深まり、外部委員を含めた「地域貢献協議会や専門部会」を開催し、外部委員の方からの意見を参考に、改善に取り組み、地域の住民と学生が交流できる「YYカフェ」の開催、福祉・介護への理解促進セミナーの開催など、地域との交流や情報発信を行い、教職員の一体感も生まれつつある。今後も学生がこの学校で学んでよかったと感じてもらえる学校運営を目指して、教職員全員で努力してゆきたい。

2017年度評価項目全体の結果

評価項目別結果	2017年度 2016年度	
	平均点	平均点
教育理念・目標	3.20	3.00
学校運営	3.00	2.27
教育活動	3.25	2.95
学修成果	3.06	2.82
学生支援	3.13	2.94
教育環境	3.03	2.97
学生募集	3.35	3.00
財務	2.72	2.55
法令遵守	3.52	3.28
社会貢献・地域貢献	3.50	3.20
国際交流	2.90	2.44

